

「名作文庫」通信



特集「子供の頃読んだ物語」

2016年

春号

## 新しく入った本

「名作文庫」に新しく入った本をご紹介します。以前、ご紹介できなかった本も含まれております。一部、保存庫に所蔵されているものもあります。1階カウンターにてご請求ください。



### 城

【著】カフカ 【訳】前田 敬作

【刊】新潮文庫 【資料番号】1011875992

測量士として城から雇われたKが、村にやってくる。しかし、どうしても城にたどりつくことができない。一見喜劇的ともいえるKの奇妙な日常が始まる…。



### 白痴 1

【著】ドストエフスキイ 【訳】亀山 郁夫

【刊】光文社古典新約文庫 【資料番号】1012138242

スイスからロシアに帰る途中のムイシキン公爵と父親の莫大な遺産を相続したばかりのロゴージン。2人の青年は絶世の美女、ナスターシャに出会い…。ドストエフスキイが書いた最高の恋愛小説。



### 動物農場

【著】ジョージ・オーウェル 【訳】川端 康雄

【刊】岩波文庫 【資料番号】1012028369

悪い人間を追い出し、「すべての動物は平等である」と七戒を掲げ、革命歌のもと産声をあげた動物農場。その行く末はー?ソビエト神話の実態を知らせ、スターリン体制の肅清を暴いた『一九八四年』と並ぶ寓話の傑作。



### 桜の園・三人姉妹

【著】チェーホフ 【訳】神西 清

【刊】新潮文庫 【資料番号】1012029748

刻々と変貌する現実を見ず、ついには領地を手放し消えゆく貴族階級の哀愁を描く「桜の園」。単調な田舎暮らしの中、都会に出ることを唯一の夢とする三人の姉妹が、仕事や恋の悩みを乗り越え、生きることの意味を見つけるまでを描いた「三人姉妹」。名作戯曲二篇。



### 老子

【著】老子 【訳】福永 光司

【刊】ちくま学芸文庫 【資料番号】1012200166

競争社会を強く否定して、農村の自然で素朴な生活に人間の幸せな生き方を見出し、「無為自然」の境地にいたった老子。己の無力を知り、自由に生きるために知恵を、碩学・福永光司の名訳と詳細な注釈とともに紹介する。

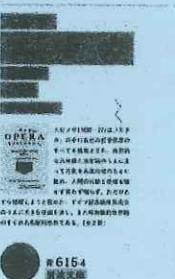


### カンタヴィルの幽霊/スフィンクス

【著】ワイルド 【訳】南條 竹則

【刊】光文社古典新訳文庫 【資料番号】101238275

生真面目で頑張り屋の幽霊が棲みつくお屋敷をアメリカ公使一家が買って一騒動…。オスカー・ワイルドの短篇小説4篇と長詩1篇のほか、彼の親友の女性作家エイダ・レヴァーソンの作品も収録する。



### エチカ (上)

【著】スピノザ 【訳】畠中 尚志

【刊】岩波文庫 【資料番号】1012200216

典型的な汎神論と決定論のうえに立って万象を永遠の相のもとに眺め、人間の行動と感情をひたすら理解しようと努めたスピノザ哲学の集大成。ドイツ観念論体系、唯物論的世界観を語る上で重要な思想大系。

## 子供の頃読んだ物語

誰もが一度は読んだ「白雪姫」や鶴の恩返しとして知られる「夕鶴」などの昔話やおとぎ話を文学として読んでみませんか。子供の頃に意識しなかった意外な発見に驚かされるかもしれません。名作文庫に収蔵されている作品をご紹介します。



### 人魚の姫 アンデルセン童話集(I)－

【著】アンデルセン 【訳】矢崎 源九郎  
【刊】新潮文庫 【資料番号】1011878384

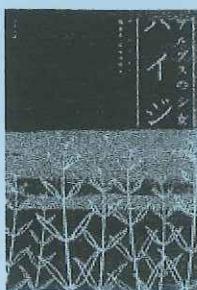
一目見ただけで人間の王子に恋した人魚の姫は、王子のそばにいたいばかりに、美しい声と引換に魔女から薬をもらったが……。あまりにも有名な表題作をはじめ、「すずの兵隊さん」「ナイチンゲール」「のろまのハンス」など16編を収録。



### 不思議の国のアリス

【著】ルイス・キャロル 【訳】山形 浩生  
【刊】文春文庫 【資料番号】1011870985

おおあわてで走っていくウサギのあとを追って、アリスが落ちた深い穴。そこは不思議の国の入り口だった…。山形浩生による訳とカズモトトモミのイラストでおくる、古典的ナンセンス文学の現代版。



### アルプスの少女ハイジ

【著】ヨハンナ・シュピリ 【訳】関 泰祐・阿部 賀隆  
【刊】角川文庫 【資料番号】1011413232

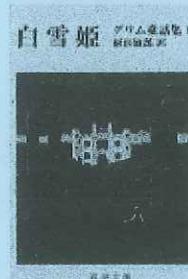
山奥で孤独に暮らすおじいさんの元へ連れてこられたハイジ。人見知りの羊飼いペーター、足の不自由な少女クララー様々な人々との触れ合いの中で、愛と奇跡を生み出す。境遇や周囲の思惑に振り回されながらも思いやりと優しさに溢れる少女の物語。



### 夕鶴・彦市ばなし

【著】木下 順二 【刊】新潮文庫  
【資料番号】1010152898

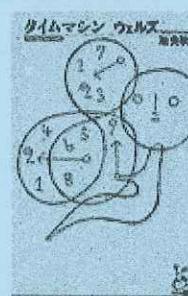
矢を射られ苦しんでいたところを助けてくれた与ひよの純朴な愛にむくいるため、女人に化して彼の嫁となった鶴のつう。しかしが欲に目がくらみ始めるとともに、話す言葉も理解できなくなってしまう…。幻想的な民話の世界。



### 白雪姫 一グリム童話集 I -

【著】グリム兄弟 【訳】植田 敏郎  
【刊】新潮文庫 【資料番号】1010103511

ドイツ民衆の間で語りつがれてきたメルヘンを収集し、文学的才能によってナイーヴな詩に高めたグリム兄弟。今なお愛読されるグリム童話のなかから、表題作をはじめ、『歌う骨』『金の鸞鳥』『灰だらけ姫』『干匹皮』など23編を収録した傑作集第一集。



### タイムマシン

【著】ウェルズ 【訳】池 央耿  
【刊】光文社古典新約文庫 【資料番号】1011889506

時空を超える「タイムマシン」を発明したタイム・トラヴェラーは、80万年後の世界へ飛ぶ。そこは、地上に住む華奢で穏やかなイーロイ人と、地底をねぐらにする獰猛なモーロック人の2種族による原始的な階級社会だった…。



### 怪談・奇談

【著】小泉 八雲 【編】平川 祐弘  
【刊】講談社学術文庫 【資料番号】1010335550

1890年に来日以来、日本の物語や民間信仰や風習を研究し「小泉八雲」の名で「耳なし芳一」「轆轤首」「雪女」など、昔話として今も親しまれる物語を数多く残した。これら怪談・奇談42篇を、気鋭のハーン研究者達の新訳で収録。巻末に原拠30篇も翻刻した。

## あの人、あの一言。

名作に登場する忘がたい人物やセリフ、そして文章をピックアップ。  
心の糧に、座右の銘に、雑談の種に。

一匹の人間が持っている丈の精力を  
一事に傾注すると、実際不可能な事は  
なくなるかも知れない。

森 鷗外 「雁（がん）」新潮文庫

一人の人間が何事か成さんとする意思をもって行動するならば、どんなことでも可能なのではないか—。

「雁」はある種独特な雰囲気を持つ小説ですが、そんな物語の中にもはっとさせられる言葉。生涯博識を愛した鷗外の中に人間の持つ力への信頼と自信が感じられる一言です。

「名作文庫」で読める森 鷗外の作品

舞姫・うたかたの記【刊】角川文庫 【資料番号】1011801840

青年【刊】新潮文庫 【資料番号】1012003826

山椒大夫・高瀬舟【刊】新潮文庫 【資料番号】1011545595

ヰタ・セクスアリス【刊】新潮文庫 【資料番号】1010154258

雁【刊】新潮文庫 【資料番号】1010154266

森 鷗外（もり おうがい）

1892年（文久2年）1月19日～1922年（大正11年）7月9日

本名 森 林太郎（もり りんたろう）。石見国津和野（現・島根県津和野町）出身。

廃藩置県を機に父と共に上京し、ドイツ語を学び第一大学区医学校（現・東京大学医学部）予科に最年少で入学。卒業後は実家の病院を手伝っていましたが、周囲の推薦もあり軍医となりました。1884（明治17）年軍の衛生学の調査及び研究として念願のドイツ留学が実現。帰国の後軍医としての仕事のかたわら、小説「舞姫」「雁」「山椒大夫」「高瀬舟」、史伝「渋江抽斎」などを執筆。医学・文学の評論や小説・戯曲等の翻訳、ヨーロッパ文学の紹介などを行い、明治を代表する知識人として活躍しました。

1907（明治40）年には陸軍軍医総監・陸軍省医務局長に就任、1916（大正5）年まで務め、退職後は帝室博物館総長兼図書頭として、上野の帝室博物館や秋には奈良の正倉院にも赴くなど多忙な生涯でした。

鷗外の子供らも作家として活動しており、鷗外について著作を残しています。とりわけ茉莉（国語教科書に載った『父の帽子』）と杏奴（『晩年の父』）が有名です。





## いまこそ教養、「名作文庫」。

下井草図書館だけにある特別な本棚、「名作文庫」。  
一度は読んでおきたい古今東西の名著名作を  
ハンディなサイズの文庫版・新書版で集めた本棚です。  
同じ作者の同じ作品がいろいろな本でそろっているので、  
1冊ごとに違う解説、違う注釈、違う翻訳に  
触ることができます。  
題名だけしか聞いたことなかったあの作品、  
いまこそ手にとってご覧になりませんか？

### よりディープに楽しみたいあなたには 『名作文庫 蔵書紹介』『いまこそ名作！読書会』

実は「名作文庫」の一部は保存庫にしまわれています。  
でも『名作文庫 蔵書紹介』を見れば大丈夫！  
保存庫の本のこともバッタリ載っています。  
読みおわって熱い感動を誰かに語りたい…と思ったら、  
『いまこそ名作！読書会』にその思いを投稿しましょう！  
投稿レビューは常時公開！同じ思いの誰かがいるかも。